

安全データシート

制定日:1999年4月1日
作成日:2015年12月1日(16版)

化学品及び会社情報	化学品の名称		アラルダイト®ラピッド(AR-R30) (エポキシ系強力接着剤)硬化剤		
	会社名		ニチバン株式会社		
	住所	本社	東京都文京区関口 2-3-3		
		担当部門	品質環境管理部 埼玉県日高市大谷沢西原 100 番地		
	連絡先	電話番号	042-989-3716		
FAX		042-989-3719			
危険有害性の要約	GHS分類	<p>【健康に対する有害性】 皮膚腐食性/刺激性: 区分 2 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 2B 皮膚感作性: 区分 1 特定標的臓器毒性(反復ばく露)(脳): 区分 2 【環境に対する有害性】 水生毒性(慢性): 区分 3 【GHSラベル要素】</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>警告 皮膚に接触すると有害。重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。長期的影響により水生生物に有害。飲み込むことによる長期ないし反復ばく露により臓器障害を引き起こすおそれ。(脳)</p>			
注意喚起語 危険有害性情報					
組成及び成分情報	化学物質・混合物の区別: 混合物				
	物質名	含有量 wt%	化審法	CAS No.	
	トリエチレングリコールジメチルカプタン	1-5	2-2451	14970-87-7	
	N-(3ジメチルアミノプロピル)-1,3-プロピレンジアミン	1-5	—	10563-29-8	
	2,4,6-トリジメチルアミノメチルフェノール	1-5	3-714	90-72-2	
	トリメチルアミノエチルピペラジン	1-5	5-964	104-19-8	
	酢酸ブチル	1-5	2-731	123-86-4	

<p>応急措置</p>	<p>【吸入した場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気の新鮮な場所に移し、襟、ネクタイ、ベルト等の衣類の締め付けを緩め、呼吸しやすい体勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、人工呼吸を行う。意識がない場合は、昏睡位にして直ちに医師の手当を受ける。 <p>【皮膚に付着した場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多量の水と石鹼で十分に洗い流す。汚染された衣服および靴を脱がせる。異常があれば医師の手当を受ける。 <p>【眼に入った場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直ちに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずし、十分に洗い流す。医師の診断を受ける。 <p>【飲み込んだ場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水で口をよくすすぎ、直ちに医師の診断を受ける。飲み込んだ場合、意識があれば少量の水を与えるが、吐くようであればそれ以上は飲ませない。意識がない場合は何も与えてはいけない。もし嘔吐がおきた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。昏睡位にして、気道を開いた状態にし、襟、ネクタイ、ベルト等衣類の締め付けをゆるめ、直ちに医師の手当てを受ける。
<p>火災時の措置</p>	<p>【消火剤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス、乾燥砂など <p>【使ってはならない消火剤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報なし <p>【消火方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚染した消火排水は回収すること。排水施設に流してはならない。 ・火災の残留物や汚染した消火排水は、関係法規に従って処理する。 ・防毒マスク(有機ガス用)など適切な保護具を着用し、風上から消火する。
<p>漏出時の措置</p>	<p>【人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業の際には必ず保護具を着用する。 <p>【環境に対する注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品を排水施設に流してはならない。 ・安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 ・製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。 <p>【封じ込め及び浄化の方法及び機材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不活性の吸収材(例えば砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず)で吸着させ、密閉容器に回収する。
<p>取扱い及び保管上の注意</p>	<p>【取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用前に取扱い上の注意を十分に確認し、蒸気や粉塵を吸い込んだり、皮膚や眼への接触を避けること。眼、皮膚及び衣類に触れないよう適切な保護具を着用する。保護具は常に清潔を維持する。取扱いの後には、手や顔などをよく洗う。作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。皮膚感作性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。 <p>【保管】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元の容器に入れて密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるため直立させたまま保管する。電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。 ・混触禁止物質:強酸、強塩基類、強酸化剤
<p>ばく露防止及び保護措置</p>	<p>【設備対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排気装置、安全シャワー、アイシャワーの設置 <p>【管理濃度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酢酸ブチル 150ppm 8時間(作業環境評価基準「労働省告示79号別表に定める管理濃度」) <p>【許容濃度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酢酸ブチル 100ppm 8時間:暴露限界値(日本産業衛生学会勧告値) <p>【保護具】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着用(マスク(有機ガス用)、眼鏡又はゴーグル(耐化学物質飛沫よけ)、手袋(不浸透性のもの)、保護衣(不浸透性のもの))

<p>物理的及び 化学的性質</p>	<p>【外観】 【臭い】 【pH】 【融点・凝固点】 【沸点】 【引火点】 【燃焼又は爆発範囲の上限・下限】 【蒸気圧】 【比重(相対密度)】 【溶解度(水)】 【n-オクタノール/水分配係数】 【自然発火温度】 【分解温度】</p>	<p>・液体(粘稠液体) ・微かにあり ・データなし ・データなし ・200℃以上 ・100℃(密閉式 DIN 51758 EN 22719)、 102℃(クリーブランド開放式) ・データなし ・0.001kPa 以下(20℃) ・データなし(1.165g/cm³[25℃]) ・データなし ・データなし ・データなし ・データなし</p>
<p>安定性及び反応性</p>	<p>【反応性】 【化学的安定性】 【危険有害反応可能性】 【避けるべき条件】 【混触危険物質】 【危険有害な分解性生物】</p>	<p>・通常の使用では安定 ・通常の使用では安定 ・通常の使用では安定 ・データなし ・強酸、強塩基、強酸化剤との混合により、危険有害性を生じる。 ・通常保管及び使用条件下では、危険な分解性生物は生成されない。</p>
<p>有害性情報</p>	<p>【急性毒性】 【皮膚腐食性及び皮膚刺激性】 【眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性】 【呼吸器感作性又は皮膚感作性】 【生殖細胞変異原性】 【発がん性】 【生殖毒性】 【特定標的臓器毒性(単回ばく露)】 【特定標的臓器毒性(反復ばく露)】 【吸引性呼吸器有害性】</p>	<p>・LD₅₀ 2,300mg/kg (ラット) ・腐食性あり (ウサギ) ・腐食性あり (ウサギ) ・皮膚との接触により感作性を引き起こす(モルモット) ・重大な作用や危険有害性は知られていない。 ・重大な作用や危険有害性は知られていない。 ・重大な作用や危険有害性は知られていない。 ・データなし ・データなし ・重大な作用や危険有害性は知られていない。</p>
<p>環境影響情報</p>	<p>【生態毒性】 【残留性・分解性】 【生体蓄積性】 【土壤中の移動性】 【オゾン層への有害性】</p>	<p>・水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。水生生物に対して有害であり、長期にわたり持続する影響がある。 ・良分解性でない ・低い ・データなし ・情報なし</p>
<p>廃棄上の注意</p>	<p>・許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。 ・廃棄物に関する市町村条例を遵守する。</p>	
<p>輸送上の注意</p>	<p>・容器に漏れ、破損のないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。消防法、船舶安全法の定めるところに従う。 ・国連分類及び国連番号：該当しない</p>	
<p>適用法令</p>	<p>・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・大気汚染防止法 ・消防法：危険物 第4類第3石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性 ・化学物質管理促進法(PRTR)：指定物質を含有しない ・労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険物及び有害物(酢酸ブチル)</p>	
<p>その他の情報</p>	<p>【引用文献】・JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)ー7.SDSの全体構成及びその内容、付属書D 【注意事項】 ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供を目的とするものであり、保証するものではありません。 ・記載事項は通常の使用条件での使用を対象としたもので他の化学物質を混合、特殊な条件下で使用する場合には、お客様ご自身で安全性の評価を行った上でご使用ください。 ・当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。</p>	